別記様式第１

消　火　器　試　験　結　果　報　告　書

実施日　　年　　月　　日

実施者

住　所

氏　名　　印

用　途	（　　）項　・		構　造	耐火構造で内装制限したもの　その他	
延べ面積	m^2	必要能力単位		緩和対象の消火設備	有　無
付加設置部分の有無	有（少量危険物・指定可燃物・電気設備・火気使用設備）			無	

階	用　途	消火器の種別及び個数							能力単位			結果			
		a	b	c	d	e	f	合計	A	B	C	適応性	設置場所等	標　識	機　器
合　計												―――――			

備考	

備考１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

２　選択肢のある欄は、該当する事項を〇印で囲むこと。

３　ａは粉末消火器、ｂは泡消火器、ｃは強化液消火器、ｄは二酸化炭素消火器、ｅはハロゲン化物消火器及びｆは水消火器をいう。また、能力単位Ｃ欄は、該当する消火器が設置してある場合に〇印で記入すること。

４　付加設置すべき部分がある場合には、各階ごとに、用途の欄にその部分を記入すること。

５　結果の欄には、良否を記入すること。